

数式処理 6 巻 4 号について

学会誌「数式処理」6巻4号をお届けします。当初は本号では数式処理の応用に関する特集を組むことを企画しておりました。しかし、原稿の集まり具合等で、特集としての掲載は不可能と判断し、数式処理の教育への応用に関する高橋氏の解説「数式処理システムの数学教育への応用」を掲載するにとどめました。数式処理、特に数式処理システムの教育分野への応用は各地で真剣に議論されたり実践されたりしています。このためにどのようなシステム開発が必要かを会員各位にもお考えいただく機会になればと思います。次に、尾崎、佐々木両氏による論文“Univariate Factor Separation and Separation of Multiple/Close Root Factors”を再掲します。この論文はすでに6巻3号に掲載されたものですが、学会誌の印刷時の確認不足のため、不適切な形態のまま論文が掲載されました。著者の方々へはまことに申し訳なく思っております。また、読者の方々にも印刷時の原稿選択と刷り上がり稿の確認の誤りという当方のミスがありましたことを深くお詫びします。

本号では、さらに「数式処理」へ原稿をお寄せいただく場合の注意事項を「投稿原稿の作成要項 (jssac.sty の利用)」として掲載しました。今後の学会誌の充実をはかるためには、会員各位のできるだけ多くの御投稿をお待ちする以外にありませんので、この要項を御覧いただき、より良い学会誌を送り出すために御協力いただければと思います。